

相談支援の仕組みについて②

	豊田市	札幌市	西東京市
1 関連する条例等	豊田市子ども条例	札幌市子どもの最善の利益を実現するための権利条例	西東京市子ども条例
2 委員・機関	豊田市子どもの権利擁護委員(3 人以内、任期 2 年)、とよた子どもの権利相談室(子どもスマイルダイヤル)	札幌市子どもの権利救済委員(2 人、任期 3 年)、札幌市子どもの権利救済機関(子どもアシストセンター)	西東京市子どもの権利擁護委員(3 人以内、任期 3 年)
3 委員の任命	擁護委員は、3 人以内とし、子どもの権利に理解のある幅広い年齢層にある者(ただし、規則で定める者を除く。)から、区長が委嘱する。	救済委員は、人格が高潔で、子どもの権利に関し優れた識見を有する者のうちから、市長が議会の同意を得て委嘱する。 救済委員は、任期を3年とし、1期に限り再任されることができる。	擁護委員は、人格が優れ、子どもの権利について見識を有する者の中から市長が委嘱する。
4 委員の権限	必要な調査、調整、是正要請、是正要請後の報告要求	調査、調整、勧告、是正要請、制度改善を求めるための意見の表明、	調査、権利の侵害を救済するための調整、市および市以外の者に対する要請及び意見表明
5 事務局	「擁護委員の庶務」 子ども家庭部において処理する。	「札幌市子ども未来局子どもの権利救済事務局」 事務局4名(局長、次長は子ども教育部長、子どもの権利推進課長が兼務)	不明
6 独立性	「擁護委員の地位の独立性」 区は、擁護委員の中立性に配慮し、地位の独立性を尊重して、その活動に協力をしなければならない。 「解職」 区長は、擁護委員が心身の故障のため職務を行うことができないと認める場合、職務上の義務違反その他擁護委員としてふさわしくない行いがあると認める場合又は規則に定める事由に該当する場合は、その職を解くことができる。	「救済委員の独立性」 市の機関は、救済委員の職務の遂行に関し、その独立性を尊重するとともに、積極的な協力援助に努めるものとする。 「解嘱」 市長は、救済委員が心身の故障のため職務を遂行することができないと認めるとき、又は職務上の義務違反その他救済委員たるにふさわしくない非行があると認めるときは、議会の同意を得て解嘱することができる。	「擁護委員の独立性」 市は、擁護委員の独立性を尊重しなければならない。 「解職」 特別の事情があるときは、その任期中であっても解職することができる。

※各自治体の条例、条例施行規則、要綱等の条文、ホームページ等より作成